



七戸千絵

Chie Shichinohe

INTERVIEW

1

妊婦や乳幼児も使える商品を通して 子育てママを応援しています

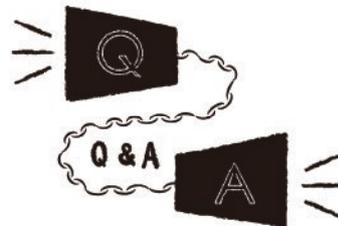
薬剤師として長く医療に携わり、結婚して東京に転居。2度の出産で緊急手術を受けて死線をさまよい、「命」について考えるようになりました。医療では補いきれないケアがあると感じて、代替医療としてアロマセラピーやベビーマッサージを学び教室を開設。参加者にはアレルギーや障がいのある子もいたので、安心して使用できる化粧品を探していたところ道産の馬油に出会いました。また、商店街の空き店舗事業としてママ友たちと子育て広場とオーガニックカフェも運営。多忙を極めていましたが、やりたいことが湧き出てきて楽しくもありました。札幌に帰郷後は積極的にオリジナル商品の企画に取り組み、「6種の有機ベリーと白樺樹液のコーディアル」や「天然馬油泡石けん」を完成。これからもシンプルな素材と成分で使いやすく、毎日の暮らしが楽しくなるような商品開発をしていきたいですね。



タイムスケジュール



日中は取引先や仕入れ先に向くこともあり、合間にお茶するのが気分転換になって、いいアイデアがわくひとときだとか



PROFILE

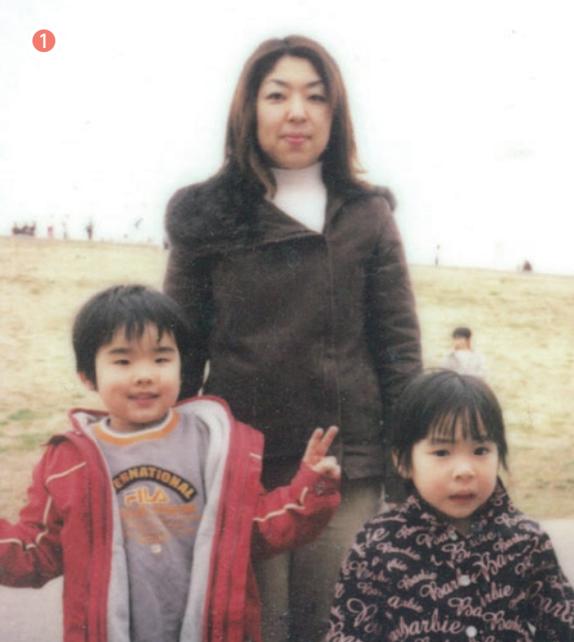
歌志内生まれ、札幌育ち。薬剤師として調剤と製剤業務に従事。結婚後10年は東京で暮らし、2006年個人事業主としてにてセントモニカを立ち上げる。2010年札幌に戻り、札幌市中央区円山に株式会社セントモニカ設立。
<http://stmonica.info/>

現在の仕事(活動)について

北海道でとれる原料を使用した化粧品と健康食品の自社ブランド商品開発、販売卸。アロマセラピーやベビーマッサージなど、医療法人、社会福祉法人等で講師を務めています。セントモニカ円山店舗の運営。ここは女性の社会参画を目的にしているので、子どもを持つ母親たちがスタッフとして従事しています。

プライベートの過ごし方

子どもたちが小さいときは、遊びに行くところすべて自分も一緒に楽しめるように心がけていました。温泉には週に1度行くようにしています。子どもたちもよるこび、日ごろ人と接する仕事が多いため、自然のなかでぼんやりすることが、ストレスの解消になります。



- ① 東京で幼少期を過ごした子どもとともに
- ② 東京の病院でベビーマッサージ教室を運営していたときの様子
- ③ 商品開発の研究発表会「ビジネスエキスポ 2013年北海道」に出店したときの様子
- ④ イベント「札幌スタイル」でのアロマ講座の様子



安心して使える道産素材を用いた商品を企画

「やりがい」だと感じられること

自社開発の化粧品や健康食品は、専門家の指導を受けて成分構成や品質保持、安定性や安全性の確認を大切にしています。デザインやコンセプトなども手掛けており、思った通りにできると達成感は大きいです。講師としては、まだまだ人材不足の分野なので、将来に向けて役に立っていただけたいです。

忘れられないエピソード

東京でベビーマッサージ教室を開いていたとき、札幌で購入するお気に入りの馬油がありました。幾度も通っているうちに、ベビー向けの商品開発に携われることに。薬局や病院で取り扱われ、必要とする人に商品が届き、感謝され大変うれしかったです。シンプルで吟味したものが役に立つと実感しました。

仕事と家事の両立で工夫していること

ふたりの子どもは中学生になりました。いろいろ経験して思ったのは「子育てには近道はない」こと。じっくりと時間をかけて、子どもと対話することが大切。子育てに行き詰ってつらい時期もありましたが、子どもがいるから得られるものがたくさんあるので、気負わず楽しむようするといいですよ。

女性が活動する上で不足していること

育児しながら働くには行政や民間のサポートが重要。行政は頼れるが書類尽くめの申請は大変で、民間だと費用がかさむ。何のために泣いている子どもを預けて働くのか、何度も自問しました。保育には柔軟なシステムを望みます。人つなぎのシステムがもう少し緩やかで、ケーススタディーを増やしてもらいたいですね。

札幌を拠点に活動することについて

一度札幌を離れると、そのよさがわかります。山も海も近く、食べ物もおいしい。たとえ仕事で疲れていても、帰りの景色はきれいで癒されます。夜空には星が瞬き、冷たく澄んだ空気を深呼吸できる札幌は素敵。また、チャレンジ精神が高く、新規商品の情報発信力には、期待しています。

社会で女性が活躍することについて

子育てや食卓を担うなど、女性がこれまで当然のようにしてきたことの価値を再認識し、未来を担う子どもたちに、心穏やかに育つ環境や社会を提供することが、女性目線でみた子どもたちの平和な社会づくりの役目だと思います。

今後の目標・展望など

北海道の地方都市、農家や畜産の生産物を生産性だけでなく、機能性や安全性を大切に商品をつくり出し、北海道から日本各地に提供していきたい。女性の目線や、販売するだけではなくケアなどの仕組みを導入した、社会参画的な会社を築いていきたいと思っています。

活動を望む女性へのメッセージ

自分の想いだけでプランを構築することも楽しいですが、想いを同じにする女性が集まると、ものすごいベクトルとパワーを生み出します。まず自分の想いを声にして、1歩でも2歩でも進んでみてください。きっと、ひとりでは叶わないことも、女性の生き方が社会の役に立つような仕組みや組織をつくることができると思います。